

令和2年度
事業計画

公益社団法人伊勢市観光協会

公益社団法人伊勢市観光協会
令和2年度 事業計画

昨年は天皇陛下の御代替わりが行われ、元号が「平成」から「令和」に改められ日本中が祝賀ムードに包まれました。上皇上皇后両陛下におかれましては4月に、新天皇皇后両陛下におかれましては11月に、御来勢をいただき、伊勢市では市民総出で奉迎を行い、感謝とお祝いをさせていただきました。

スポーツ界でも、ラグビーワールドカップにおいて日本代表がベスト8に入るなど、今年度開催される東京オリンピックに向け、幸先の良いスタートを切ることができました。

しかしながら、年末から新型コロナウイルスが中国で猛威を振るい始め、2月の春節休暇に合わせ世界各地へと感染が拡大してしまいました。日本においても、クルーズ船での感染拡大や旅行者からの感染と拡大が続き、観光イベントからスポーツイベントまで中止や変更が発表され、地域経済から日本経済まで深刻な影響が出始めております。

今年度は、この新型コロナウイルスによる観光へのダメージからの回復が当初の目標となると考えます。観光協会としては、本来の誘客事業により伊勢市への観光客を増やし、伊勢市の地域経済の活性化を支援することを目指します。

地震やその他の災害に対しても、引き続き広域での連携も視野に入れた「備え」を進め、災害発生時には被害を最小限に抑える「行動」ができ、災害後も観光事業の「いち早い復旧」ができる、そのような仕組み作りを進めてまいります。

事業としては、引き続き伊勢の魅力を広く発信しながら諸行事を通してお客様の満足度を高め、この地域への入れ込み客数を拡大させて行くよう努めて参ります。特に、青年部の事業においては情報化時代に合った「SNSを活用した事業」を進めてまいります。また、伝統ある二見浦海水浴場におきましては魅力を伝える通年イベントや二見地区の活性化事業も実施していく予定です。情報発信部会、おもてなし行事部会、青年部の各部会においては、国内外の誘客事業や伊勢に於ける受け入れ事業の実施、またインバウンド事業においては、バンコクとシンガポールにて誘客PRを企画します。中期政策検討部会では、引き続き協会の財務体質強化や収益事業の見直しを行います。また協会全体の取り組みとして、協会基盤強化のため、引き続き会員拡大を図って行きたいと考えております。会員皆様からのご紹介をお待ちしております。

本年度も、会員各位の深いご理解とご協力をお願い申し上げます。

公益社団法人伊勢市観光協会
会長 濱田 典保

<公益目的事業－旅客誘致事業>

1 広報宣伝事業（情報発信部会・青年部）※括弧内は、事業を中心的に推進していく部署です
伊勢の知名度をさらに高め、多様化している国内外観光客のニーズに対応できる観光情報を提供できるホームページやメールマガジン等の充実を図ります。また、SNS（Social Networking Service、コミュニティ型の会員制のサービス）を活用した事業では、青年部において「SNS情報発信事業」を新設し、昨年度伊勢のファンクラブ事業で行った「伊勢フォトグランプリ」のノウハウを活用し、Instagramを活用した情報発信を行います。多言語ホームページの改修については中国語の簡体字・繁体字のリニューアルを予定しており、海外へ情報発信ツールとして、充実を図ります。また、減少傾向にある、公式ホームページのアクセス数においては、原因解析と改善を図ります。

日本観光祈願祭及び観光交流伊勢会議については、実行委員会内でテーマと内容を精査し、より良い事業を目指します。

観光御師及び観光大使事業においては、北海道札幌市に全国規模の新たなネットワーク構築したもの続き、他地域のネットワーク構築も図ります。

外国人観光客へのPR事業に関しましては、引き続きタイ、シンガポールでの現地観光PRを企画しており、三重県・伊勢市・各団体と協力しながら事業を進めます。

広報宣伝事業におきましては次の事業を行います。

1. ホームページ等、インターネットを利用した観光情報提供
(情報発信部会・青年部)
2. SNS等を活用した観光情報提供（情報発信部会・青年部）
3. 観光案内所における観光情報の提供（案内所）
4. 「お伊勢さん観光ガイドの会」によるメディア等取材協力（おもてなし行事部）
5. 行政との観光パンフレットの共同作成及び配布事業（情報発信部会）
6. 観光物産展等の物品販売事業と連動したPR誘客活動（青年部）
7. マスメディアへの資料提供、取材協力、並びに宣伝活動（事務局）
8. 観光大使及び御師と連携し、ロコミ等による全国発信の強化（情報発信部会）
9. 伊勢のファンクラブ事業（青年部）
10. 第53回日本観光祈願祭の開催（観光交流伊勢会議実行委員会）
11. 第16回観光交流伊勢会議の開催（観光交流伊勢会議実行委員会）
12. マスコットキャラクター事業（青年部）
13. 外国人観光客へのPR事業（情報発信部会）
14. 常若婚事業（中期政策検討部会）
15. その他広報宣伝事業

2 観光客の誘致接遇事業（情報発信部会、おもてなし行事部、青年部）

伊勢市、伊勢商工会議所、伊勢まちづくり会社など各関係団体と協働体制をとり、旅客誘致やおもてなし事業を企画推進していきます。

観光案内所の運営については来訪者のニーズに細やかに対応できる案内所を目指し更なる改善をしていきます。レンタサイクル事業に関しては、新たな電動アシスト自転車の導入などの展開と同時に事業全体の検証を行い、お客様のニーズに呼応した利用促進を図ります。ボランティアガイド事業に関しては、ガイドの会との協議を進めガイド活動の円滑化を目指します。

外国人誘客（インバウンド）事業では、インバウンド委員会を中心に海外からの誘客を考えていきます。

手荷物事業では、好調な外宮前観光案内所、伊勢市駅及び宇治山田駅手荷物預り所での手荷物預り事業のさらなる利便性向上及び利用促進を図ると共に、事業の検証と改善を行います。観光振興研修事業は広く参加者を募集し、事業者のおもてなしに関するスキルアップに貢献します。

観光客の誘致接遇事業におきましては次の事業を行います。

1. レンタサイクル事業（青年部）
2. 観光案内所の運営（案内所）
3. 「お伊勢さん観光ガイドの会」事業（ガイドの会、おもてなし行事部）
4. 首都圏等への旅客誘致推進事業（全体事業）
5. 各種大会等の誘致接遇（おもてなし行事部）
6. 歓迎塔、歓迎看板等の設置（事務局）
7. 伝統芸能振興協力（事務局）
8. 外国人観光客誘致事業（情報発信部会、青年部）
9. 行政並び関係機関との次期御遷宮へ向けた協働事業（全体事業）
10. 伊勢市駅、宇治山田駅、外宮前観光案内所における手荷物事業（中期政策検討部会）
 11. 観光振興研修事業（おもてなし行事部）
 12. その他

3 企画調査と組織事業（情報発信部会、おもてなし行事部、青年部、中期政策検討部会）

国・県・市の各関係機関から観光情報を取り入れ、観光に関する動向の調査・研究を行い、地域における観光誘致事業のあり方を考察し、特色ある観光地づくりの研究と様々な実験事業の試行、協力を行います。前年度まで実施した伊勢の食文化調査企画事業で作成した、夜の飲食マップを軸に「夜の魅力創出」に特化したナイトタイムエコノミー推進事業を新設し、観光客の滞在期間延伸を目指します。

以上の目的を達成するために次の事業を行います。

1. 新しい観光地づくりの調査・研究（青年部、情報発信部会、中期政策検討部会）
2. 観光大使及び観光御師制度の充実の為の企画調査（情報発信部会）
3. 先進観光地の研究、視察
（青年部、おもてなし行事部、情報発信部会、中期政策検討部会）
4. 外宮周辺の活性化対策への協力（青年部、おもてなし行事部）
5. ナイトタイムエコノミー推進事業（青年部）
6. 青年部活動と協働（青年部、親会）
7. 観光振興研修事業
8. その他

4 観光施策及び共催事業（おもてなし行事部、青年部）

伊勢市の伝統、文化を守り継承していく行事を支援し、伊勢を訪れる観光客に伊勢の魅力伝え、再来訪や情報発信に繋がります。併せて観光事業を通じて関係各団体と連携を図り観光振興、発展に努めます。

以上の目的を達成するために次の事業を行います。

1. 春まつりへの協力及び桜開き式（おもてなし行事部）
2. 伊勢神宮奉納全国花火大会（おもてなし行事部）
3. 二見浦海水浴場浜開き式（おもてなし行事部）
4. 神宮観月会に併せた観月茶会の開催（おもてなし行事部）
5. 初穂曳への協力（おもてなし行事部）
6. 冬至の奉納（おもてなし行事部）
7. 越年行事 伊勢神宮奉納餅つきと年越餅の贈呈（おもてなし行事部）
8. 伊勢楽市（春・秋）開催協力（青年部）
9. 参宮木札事業への協力（事務局）
10. 御幣鯛奉祝事業（おもてなし行事部）
11. 行政との観光PR企画事業（情報発信部会、青年部）
12. 伊勢まつりへの協力（おもてなし行事部）
13. その他各種団体行事への協力（おもてなし行事部）

5 関連団体への協力及び事業の推進

関連団体の中枢会員として、観光振興に関わる事業への協力並びに諸施策の推進を図ります。引き続き、伊勢志摩地域の関係団体等との連携を図り、広域的な観光を目指す方向で検討していきます。

以下の事業団体へ協力及び事業推進を図ります。

1. 伊勢商工会議所
・伊勢市中心市街地活性化協議会

- ・伊勢うどん協議会
- ・夜の賑わい創出事業実行委員会
- 2. (公社) 伊勢志摩観光コンベンション機構
 - ・伊勢志摩学生団体誘致委員会
 - ・伊勢志摩観光企画委員会
 - ・伊勢志摩フィルムコミッション
 - ・伊勢志摩インバウンド会議 (仮称)
- 3. (一財) 伊勢志摩国立公園協会
- 4. (公社) 三重県観光連盟
- 5. 伊勢市国際交流協会
- 6. (公社) 日本観光振興協会
- 7. 伊勢まちづくり株式会社
- 8. 伊勢青年団体連絡協議会
- 9. おもてなしヘルパー推進会議
- 10. 伊勢地域観光交通対策協議会
- 11. いせでわDMO (山形県主導事業)
- 12. その他団体との協力、連携

6 協賛または後援行事

伊勢市内で開催される各種行事の観光誘致事業については賛同し、協賛及び後援をしていきます。

次の各種行事に協賛または後援をしていきます。

1. 猿田彦神社御田祭及び七五三祭
2. 倭姫宮例大祭(春・秋)
3. 二見大祭しめなわ曳
4. 外宮奉納市
5. 外宮さんゆかたで千人お参り
6. 伊勢神宮奉納選抜社会人野球伊勢大会
7. 都道府県対抗全日本中学生ソフトテニス大会
8. 伊勢市民まつり
9. おひなさまめぐり in 二見
10. 全日本大学駅伝対校選手権大会
11. 伊勢神宮奉納全日本学生弓道王座決定戦
12. 伊勢神宮奉納書道展
13. お伊勢さんマラソン大会
14. 松尾観音寺初午祭
15. 神宮奉納大相撲
16. 金剛證寺開山忌
17. 伊勢高柳の夜店
18. その他 協会が認める観光事業

7 市受託（入札）事業（おもてなし行事部、中期政策検討部会）

伊勢市から下記3事業を受託し事業を行う予定です。

1. 観光案内所

伊勢市駅構内・宇治山田駅構内・外宮前・二見浦・宇治浦田の運営を通し国内外から訪れ観光客に必要な情報提供や、おもてなしを行います。各種誘客キャンペーン事業にも協力を行い伊勢志摩全体への周遊拠点の役割担います。

2. 二見浦海水浴場の運営（おもてなし行事部）

日本初の公認海水浴場の管理運営を行います。昨年度開催したイベントをブラッシュアップし海水浴場への誘客を行います。また、通年で海水浴場を活用したイベントや二見周遊企画等も検討していきます。

3. 伊勢市ふるさと応援寄附金 PR および発送業務（中期政策検討部会）

伊勢市ふるさと応援寄附金寄付者への返礼品発送業務等の受託を目指します。また、返礼品の充実やPR業務も行います。

<収益事業>（中期政策検討部会、青年部）

公益目的事業遂行の為の資金調達及び誘客の為の情報発信を目的として下記の事業を行います

1 賃貸事業

伊勢市駅前ビルの賃貸事業に加え、風餐亭1F研修室を使った賃貸事業を推進します。

2 物品販売事業（青年部、中期政策検討部会）

「伊勢乃国発ええじゃないか便」を使った情報発信と収益事業。会員事業支所と商品開発や観光PRでの各地イベントなどへの出店をしていきます。伊勢市ふるさと応援寄附金については、行政共に広報の拡大や返礼品の商品拡充を図ります。

3 会員互助事業（情報発信部会、中期政策検討部会、青年部）

会報誌「ええじゃないか伊勢」の発行、青年部におけるインターネットを使用した会員の情報発信ウェブサイトの充実や、会員互助事業企画等を考えていきます

<本部事業>

1 中期政策検討部会

協会の運営や事業、その方向性などについて検討し、理事会へ提言していきます。本年度も事業等の精査を行い、事業の再編や内容の適正化、さらには運営の健全化を進めていきます。

収支予算書(正味財産増減予算書)

2020年4月1日から2021年3月31日

科目	予算額	前年度予算額	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取会費			
正会員受取会費	11,160,000	11,160,000	0
②事業収益			
貸貸収入	8,284,000	6,940,000	1,344,000
物品販売収入	30,800,000	22,100,000	8,700,000
受託事業収入	46,973,559	39,419,238	7,554,321
手荷物預り事業収入	5,900,000	5,610,000	290,000
バナー広告収入	1,700,000	1,700,000	0
事業収益計	93,657,559	75,769,238	17,888,321
③受取負担金			
受取負担金	23,698,916	30,694,416	△ 6,995,501
④受取寄付金			
受取寄付金	100,000	0	100,000
受取寄付金振替額	2,431,275	2,431,275	0
⑤雑収益	1,612,000	3,013,000	△ 1,401,000
経常収益計	132,659,750	123,067,929	9,591,821
(2) 経常費用			
①事業費			
役員報酬	2,400,000	2,400,000	0
給料手当	31,143,040	9,549,240	21,593,800
臨時雇賃金	3,700,000	22,560,000	△ 18,860,000
退職給付費用	0	174,476	△ 174,476
福利厚生費	7,316,469	5,938,260	1,378,209
旅費交通費	4,039,670	4,322,940	△ 283,270
通信運搬費	2,933,745	3,587,520	△ 653,775
建物減価償却費	1,480,495	1,497,100	△ 16,605
建物附属設備減価償却費	59,351	68,600	△ 9,249
構築物減価償却費	33,667	33,800	△ 133
消耗品費	3,411,000	3,389,500	21,500
修繕費	1,052,000	780,500	271,500
印刷製本費	8,552,500	11,289,400	△ 2,736,900
燃料費	45,600	0	45,600
光熱水料費	601,800	701,800	△ 100,000
賃借料	2,111,920	2,157,020	△ 45,100
保険料	313,920	397,000	△ 83,080
諸謝金	625,000	615,000	10,000
租税公課	4,083,300	3,808,930	274,370
支払負担金	1,973,160	2,133,160	△ 160,000
委託費	17,625,336	16,896,554	728,782
会議費	857,500	1,187,500	△ 330,000
渉外費	487,000	332,000	155,000
物品仕入高	25,300,000	17,350,000	7,950,000
雑費	1,691,500	1,814,500	△ 123,000
事業費計	121,837,973	112,984,800	8,853,173

科 目	予算額	前年度予算額	増 減
②管理費			
役員報酬	1,600,000	1,600,000	0
給料手当	2,731,760	2,650,760	81,000
退職給付費用	0	71,024	△ 71,024
福利厚生費	829,632	781,740	47,892
会議費	107,500	107,500	0
旅費交通費	64,500	64,500	0
通信運搬費	511,915	430,000	81,915
建物減価償却費	1,465,235	1,469,200	△ 3,965
建物附属設備減価償却費	72,542	83,700	△ 11,158
構築物減価償却費	41,153	41,200	△ 47
消耗品費	172,000	172,000	0
修繕費	258,000	279,500	△ 21,500
印刷製本費	64,500	43,000	21,500
燃料費	34,400	80,000	△ 45,600
光熱水料費	103,200	103,200	0
賃借料	419,680	380,980	38,700
保険料	110,080	86,000	24,080
租税公課	322,500	365,500	△ 43,000
支払負担金	80,840	80,900	△ 60
委託費	521,332	515,700	5,632
渉外費	86,000	43,000	43,000
雑費	150,500	150,500	0
管理費計	9,747,269	9,599,904	147,365
経常費用計	131,585,241	122,584,704	9,000,537
評価損益等調整前当期経常	1,074,509	483,225	591,284
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	1,074,509	483,225	591,284
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
他会計振替額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増	1,074,509	483,225	591,284
法人税、住民税及び事業税	72,000	72,000	0
当期一般正味財産増減額	1,002,509	411,225	591,284
一般正味財産期首残高	53,691,687	52,338,730	1,352,957
一般正味財産期末残高	54,694,196	52,749,955	1,944,241
II 指定正味財産増減の部			
一般正味財産への振替額	2,431,275	2,431,275	0
寄付金振替額(指)	2,431,275	2,431,275	0
当期指定正味財産増減額	△ 2,431,275	△ 2,431,275	0
指定正味財産期首残高	83,679,001	86,110,276	
指定正味財産期末残高	81,247,726	83,679,001	
III 正味財産期末残高	135,941,922	136,428,956	△ 487,035

収支予算書内訳表(正味財産増減予算書内訳表)

2020年4月1日から2021年3月31日

単位(円)

科 目	公益目的 事業会計	収益事業等 会計	法人会計	合計
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
①受取会費				
正会員受取会費	5,400,000	250,000	5,510,000	11,160,000
②事業収益				
貸貸収入	4,450,000	3,834,000	0	8,284,000
物品販売収入	0	30,800,000	0	30,800,000
受託事業収入	46,133,559	840,000	0	46,973,559
手荷物預り事業収入	5,900,000	0	0	5,900,000
バナー広告収入	1,700,000	0	0	1,700,000
事業収益計	58,183,559	35,474,000	0	93,657,559
③受取負担金				
受取負担金	17,235,626	0	6,463,290	23,698,916
④受取寄付金				
受取寄付金	0	0	100,000	100,000
受取寄付金振替額	486,255	607,819	1,337,201	2,431,275
⑤雑収益	1,210,000	400,000	2,000	1,612,000
経常収益計	82,515,440	36,731,819	13,412,491	132,659,750
(2) 経常費用				
①事業費				
役員報酬	2,240,000	160,000		2,400,000
給料手当	30,552,432	590,608		31,143,040
臨時雇賃金	3,700,000	0		3,700,000
福利厚生費	7,170,748	145,721		7,316,469
旅費交通費	4,030,670	9,000		4,039,670
通信運搬費	1,362,315	1,571,430		2,933,745
建物減価償却費	587,890	892,605		1,480,495
建物附属設備減価償却費	26,378	32,973		59,351
構築物減価償却費	14,963	18,704		33,667
消耗品費	2,967,000	444,000		3,411,000
修繕費	916,000	136,000		1,052,000
印刷製本費	8,247,500	305,000		8,552,500
燃料費	40,800	4,800		45,600
光熱水料費	552,400	49,400		601,800
賃借料	1,902,360	209,560		2,111,920
保険料	291,560	22,360		313,920
諸謝金	625,000	0		625,000
租税公課	2,532,100	1,551,200		4,083,300
支払負担金	1,961,880	11,280		1,973,160
委託費	17,312,592	312,744		17,625,336
会議費	842,500	15,000		857,500
渉外費	475,000	12,000		487,000
物品仕入高	0	25,300,000		25,300,000
雑費	1,510,500	181,000		1,691,500
事業費計	89,862,588	31,975,385		121,837,973

科目	公益目的 事業会計	収益事業等 会計	法人会計	合計
②管理費				
役員報酬			1,600,000	1,600,000
給料手当			2,731,760	2,731,760
福利厚生費			829,632	829,632
会議費			107,500	107,500
旅費交通費			64,500	64,500
通信運搬費			511,915	511,915
建物減価償却費			1,465,235	1,465,235
建物附属設備減価償却費			72,542	72,542
構築物減価償却費			41,153	41,153
消耗品費			172,000	172,000
修繕費			258,000	258,000
印刷製本費			64,500	64,500
燃料費			34,400	34,400
光熱水料費			103,200	103,200
賃借料			419,680	419,680
保険料			110,080	110,080
租税公課			322,500	322,500
支払負担金			80,840	80,840
委託費			521,332	521,332
渉外費			86,000	86,000
雑費			150,500	150,500
管理費計	0	0	9,747,269	9,747,269
経常費用計	89,862,588	31,975,385	9,747,269	131,585,241
評価損益等調整前当期経常	△ 7,347,149	4,756,435	3,665,223	1,074,509
評価損益等計	0	0	0	0
当期経常増減額	△ 7,347,149	4,756,435	3,665,223	1,074,509
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	0
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0
他会計振替額	1,099,172	△ 1,099,172	0	0
税引前当期一般正味財産増	△ 6,247,977	3,657,263	3,665,223	1,074,509
法人税、住民税及び事業税	0	72,000	0	72,000
当期一般正味財産増減額	△ 6,247,977	3,585,263	3,665,223	1,002,509
一般正味財産期首残高				53,691,687
一般正味財産期末残高				54,694,196
II 指定正味財産増減の部				
一般正味財産への振替額	486,255	607,819	1,337,201	2,431,275
寄付金振替額(指)	486,255	607,819	1,337,201	2,431,275
当期指定正味財産増減額	△ 486,255	△ 607,819	△ 1,337,201	△ 2,431,275
指定正味財産期首残高				83,679,001
寄付金				83,679,001
指定正味財産期末残高				81,247,726
寄付金				81,247,726
III 正味財産期末残高				135,941,922

(注) 貸借対照表内訳表を作成していないため、一般正味財産期首残高、一般正味財産期末残高、指定正味財産期首残高、指定正味財産期末残高及び正味財産期末残高は合計欄のみを記載している。

資金調達及び設備投資の見込みについて

【令和2年度(令和2年4月1日から令和3年3月31日まで)】

(1) 資金調達の見込みについて

借入れの予定		<input type="checkbox"/>	あり	<input checked="" type="checkbox"/>	なし
事業区分	借入先	金額		用途	

(2) 設備投資の見込みについて

設備投資の予定		<input type="checkbox"/>	あり	<input checked="" type="checkbox"/>	なし
事業区分	設備投資の内容	支出又は収入の予定額		資金調達の方法	